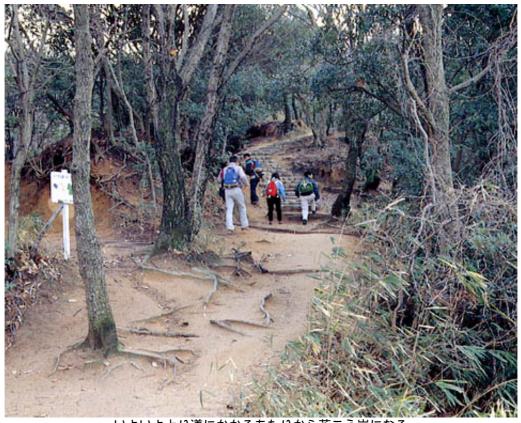
第1の自然シリーズ 21

大甲山はどうしてできたか

## 鉢伏山の登り



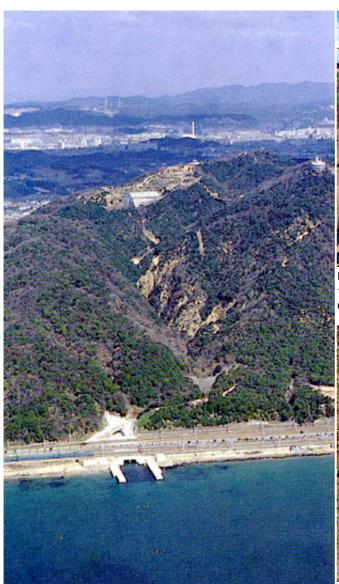
いよいよ上り道にかかるあたりから花こう岩になる



石段の下は花こう岩でできている。よく風化が進み、手でさわっただけでポロポロとくずれる



ハンマーの左側の白い部分は、花こう岩が圧砕されて、 粘土化したもの





山上の遊園地にあらわれている風化の進んでいない花こう岩。断層による圧砕化や風化をうけていないほんらい の固さの花こう岩



一汗かいて上った鉢伏山



鉢伏山の花こう岩がいったん海底に沈み、再び淡路島に続く



須磨の海岸には養浜工事で白砂の浜が戻ってきた。



波の浸食に対する海岸の護岸、山崩れを防ぐ砂防ダムの 鉢伏山の傾斜はきつい。山頂からは海岸がみえず、直接完成で、かつての"白浜青松の浜"をつくった砂は山か 海面がみえるほどである。 らは補給されなくなった。



デジタル化 神戸の自然シリーズ 21 六甲山はどうしてできたか メン